

Ⅲ ケアマネジメントの状況について

1 ケアプランの担当件数

問 10 あなたが担当しているケアプランの作成件数はどのくらいですか。
要介護度別にお答えください。

ケアプランの担当件数は、平均で 21.9 件となっている。件数の内訳としては、「要介護 1」と「要介護 2」で全体の 57.0%と 6 割近くを占め、それぞれ 28.7%、28.3%となっている。

項目	総数(件)	割合(%)
要支援1	78	3.1
要支援2	124	5.0
要介護1	716	28.7
要介護2	706	28.3
要介護3	377	15.1
要介護4	284	11.4
要介護5	209	8.4
合計	2,494	100.0

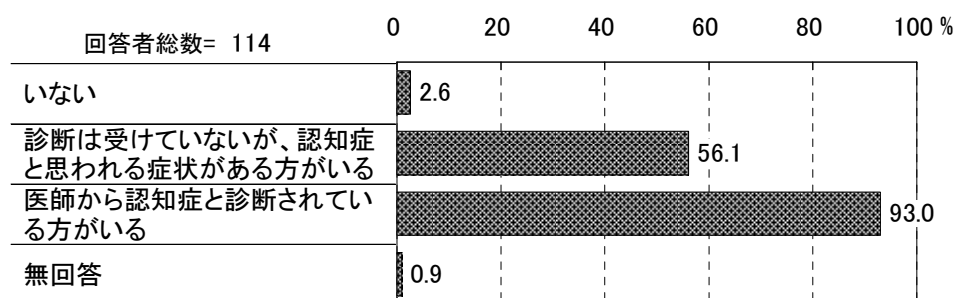
回答者数	114人
平均値	21.9件

2 認知症の方の有無

問 11 担当している利用者の中に、認知症の方はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

認知症の方の有無は、「医師から認知症と診断されている方がいる」が 93.0%、「診断は受けていないが、認知症と思われる症状がある方がいる」が 56.1%、「いない」が 2.6%となっている。



【認知症と思われる方・診断されている方の人数】

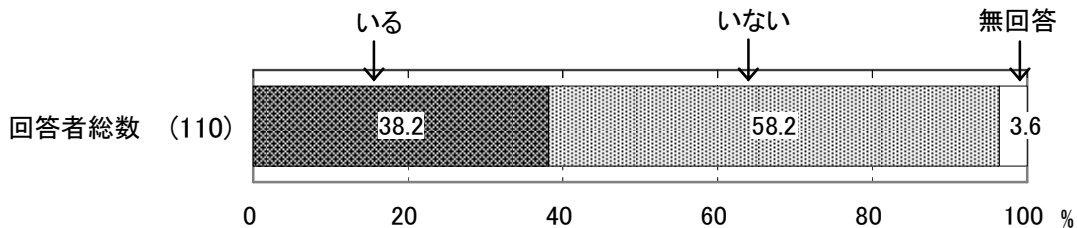
認知症と思われる方・診断されている方の人数について、ケアプラン総件数に対する割合をみると、「診断は受けていないが、認知症と思われる症状がある方がいる」で13.1%、「医師から認知症と診断されている方がいる」で28.4%であり、合わせると該当者は全体の41.5%となっている。

	回答者数(人)	該当者数(人)	ケアプラン総件数 (2,494件)に対する 割合(%)
診断は受けていないが、 認知症と思われる症状がある 方の人数	64	326	13.1
医師から認知症と 診断されている方の 人数	106	708	28.4

問11-1 問11で「診断は受けていないが、認知症と思われる症状がある方がいる」または「医師から認知症と診断されている方がいる」と答えた方におうかがいします。

該当する利用者の中で在宅が不可能と思われる方はいますか。

在宅が不可能と思われる方の有無については、「いる」が38.2%、「いない」が58.2%となっている。



【在宅が不可能と思われる方の人数】

在宅が不可能と思われる方の人数は、認知症と思われる方と認知症と診断された方1,034人のうち92人であり、その割合は8.9%となっている。

	回答者数(人)	対象(人)	該当者数(人)	割合(%)
在宅が不可能と思われ る方の人数	42	1,034	92	8.9

問 11-2 問 11 で「医師から認知症と診断されている方がいる」と答えた方におうかがいします。

認知症対応型サービス利用者は何人ですか。

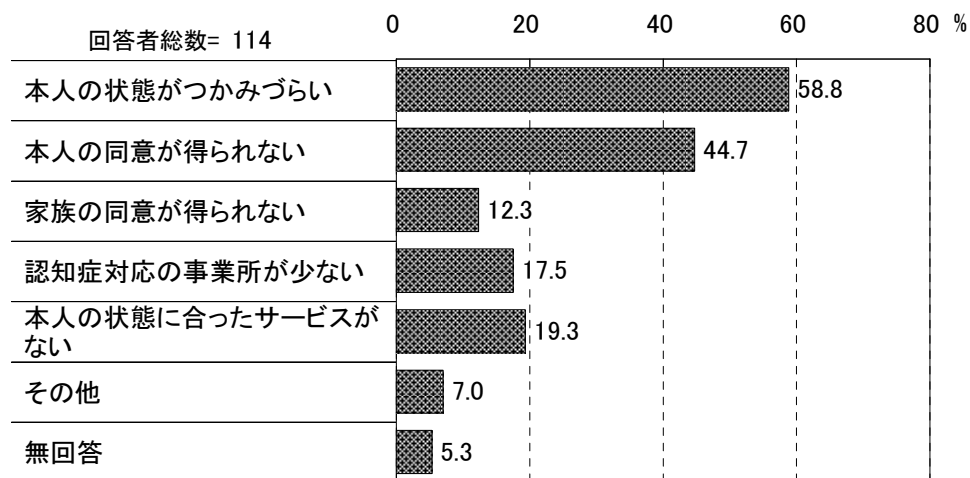
認知症対応型サービス利用者の人数は、認知症と診断された 708 人のうち 95 人であり、その割合は 13.4%となっている。

	回答者数(人)	対象(人)	該当者数(人)	割合(%)
認知症対応型サービスの利用者数	106	708	95	13.4

3 認知症の症状のある方のケアプランを作る際に困難なこと

問 12 認知症の症状のある利用者のケアプランを作成する際に難しいと思われることはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の症状のある方のケアプランを作る際に困難なことは、「本人の状態がつかみづらい」が 58.8%と最も多く、次いで「本人の同意が得られない」が 44.7%、「本人の状態に合ったサービスがない」が 19.3%、「認知症対応の事業所が少ない」が 17.5%、「家族の同意が得られない」が 12.3%となっている。



【経験年数別／認知症の症状のある方のケアプランを作る際に困難なこと】

経験年数別にみると、年数によって特に大きな差はみられないが、「本人の状態に合ったサービスがない」ことに困難を感じている割合は、対象者数の最も多い“5年以上”で1割半ばと他と比較して低くなっている。また、「家族の同意が得られない」ことに困難を感じているのは、経験年数が3年以上のみであり、“3年以上5年未満”“5年以上”それぞれで1割半ばとなっている。

		(%)						
\		本人の状態がつかみづらい	本人の同意が得られない	家族の同意が得られない	認知症対応の事業所が少ない	本人の状態に合ったサービスがない	その他	無回答
全体	114	58.8	44.7	12.3	17.5	19.3	7.0	5.3
6か月未満	3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
6か月以上1年未満	5	80.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0
1年以上2年未満	14	57.1	57.1	0.0	7.1	21.4	7.1	0.0
2年以上3年未満	10	80.0	60.0	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0
3年以上5年未満	24	45.8	50.0	16.7	8.3	33.3	0.0	4.2
5年以上	56	57.1	41.1	16.1	23.2	16.1	7.1	8.9

問 12-1 問 12 で「本人の同意が得られない」または「家族の同意が得られない」と答えた方におうかがいします。

同意が得られない理由はなんですか。

1. 高齢者自身の状態による

【主な回答】

- ・言語的な意思の疎通が困難のため。
- ・自分の生活状態を理解できていない。
- ・二人暮らしでどちらも認知、判断力欠如。キーパーソンはなく、他に親せきもいない。
- ・こちらの説明や意思が伝わらない。

2. サービスに対する理解不足・周知不足による

【主な回答】

- ・介護保険に対する理解がなかったり、サービスへの拒否感が見られることもある。
- ・病気の進行など（認知以外）で必要となってくるサービスについての理解がない。
- ・サービスの必要性を感じていない。

3. 高齢者自身の現在の状態に対する認識不足による

【主な回答】

- ・アセスメントにより必要性があるが、その理解が本人や家族にないため、サービスが入れられない。
- ・本人・家族とも、認知症状があることを受入れていない。
- ・本人は自分が認知症だという自覚がないため、家族は「認知対応型」に行くほどではない、認めたくないという気持ちが強い。

4. 高齢者自身の経済的問題による

【主な回答】

- ・金銭的問題による。
- ・施設利用の料金が高い。

5. その他の理由

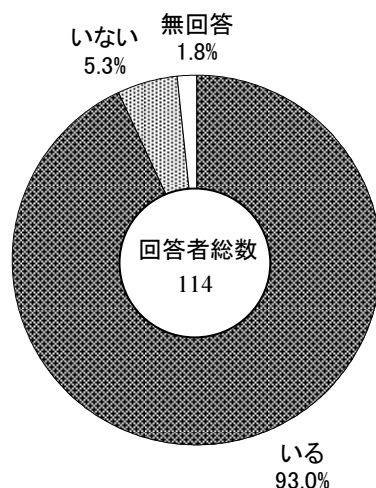
【主な回答】

- ・家族が遠方で連携が取れない。

4 医療系の介護保険サービスが必要な方の有無

問 13 訪問看護などの医療系の介護保険サービスが必要な利用者はいますか。

医療系の介護保険サービスが必要な方の有無については、「いる」が93.0%、「いない」が5.3%となっている。



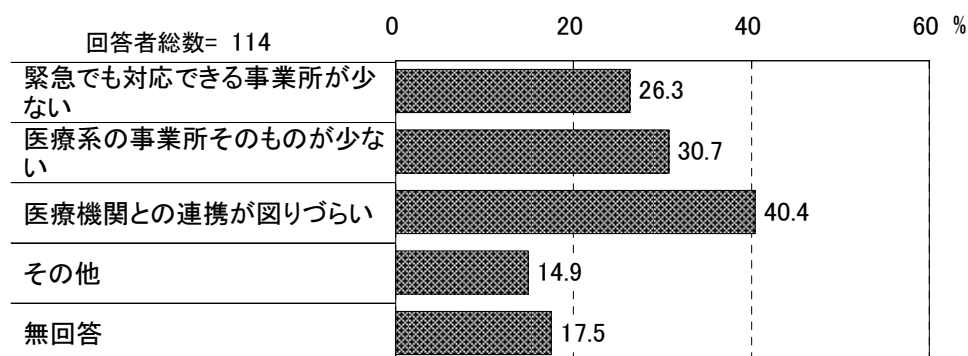
【医療系の介護保険サービスが必要な利用者の人数】

医療系の介護保険サービスが必要な利用者の人数は531人であり、ケアプラン総件数2,494人の21.3%となっている。

	回答者数(人)	対象(人)	該当者数(人)	割合(%)
医療系の介護保険サービスが必要な利用者の人数	106	2,494	531	21.3

問 13-1 医療依存度の高い利用者の支援で難しいことはなんですか。
(あてはまるものすべてに○)

医療依存度の高い利用者の支援で難しいことは、「医療機関との連携が図りづらい」が40.4%と最も多く、次いで「医療系の事業所そのものが少ない」が30.7%、「緊急でも対応できる事業所が少ない」が26.3%となっている。

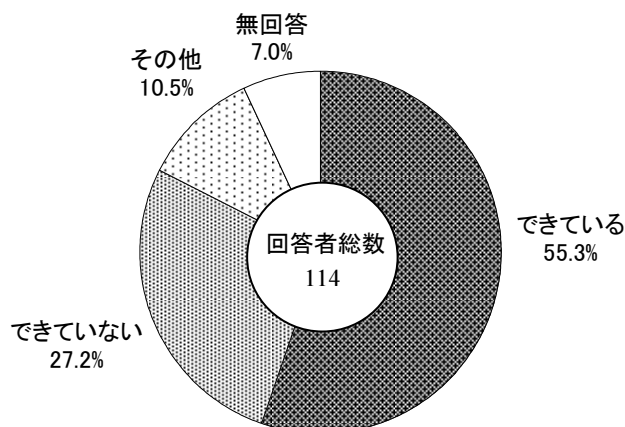


IV アセスメントの実施状況について

1 ケアプラン作成時における十分なアセスメントの有無

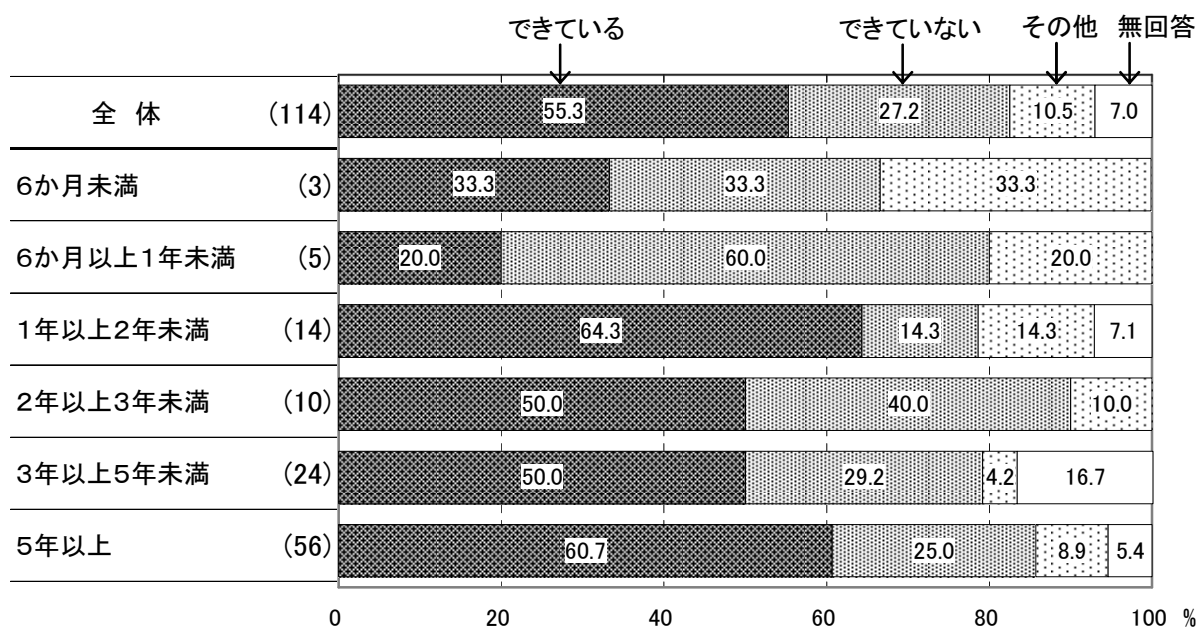
問 14 ケアプランを作成する際に、十分なアセスメントができていますか。

ケアプラン作成時において十分なアセスメントが「できている」は55.3%と半数を超えており、「できていない」は27.2%となっている。



【経験年数別／ケアプラン作成時における十分なアセスメントの有無】

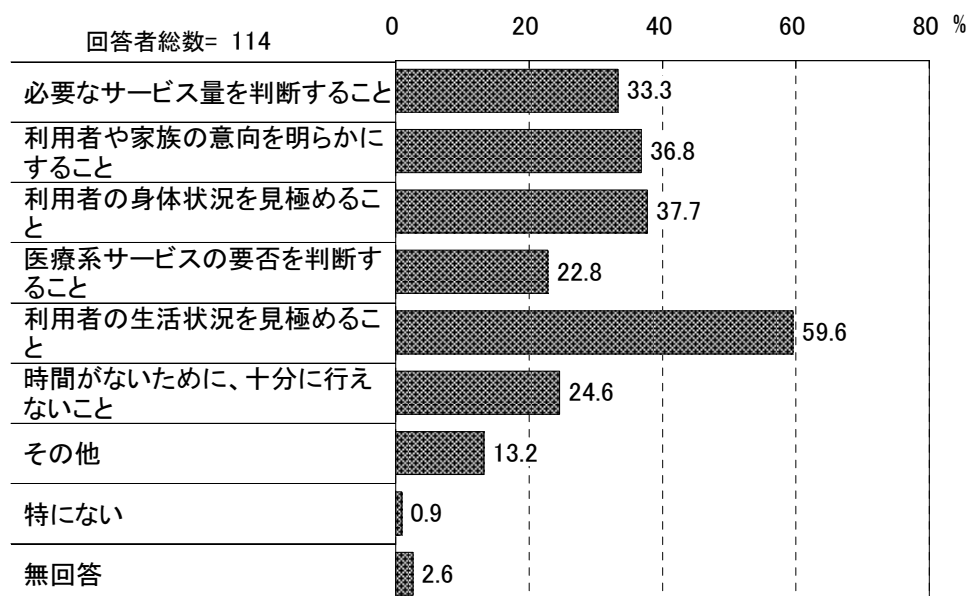
経験年数別にみると、ケアプラン作成時に十分なアセスメントができている割合は、対象者数が少ないものの、経験年数が1年未満で2割から3割であるのに対して、1年以上では5割以上となっている。



2 アセスメントを実施する際に困難だと感じること

問 15 アセスメントを実施する際に難しいと感じることはなんですか。
(あてはまるものすべてに○)

アセスメントを実施する際に困難だと感じることは、「利用者の生活状況を見極めること」が 59.6%と最も多く、次いで「利用者の身体状況を見極めること」が 37.7%、「利用者や家族の意向を明らかにすること」が 36.8%、「必要なサービス量を判断すること」が 33.3%などとなっている。



3 モニタリング、アセスメントに要する1回当たりの時間

問 16 1回当たりのモニタリング、アセスメントに要する平均時間はどのくらいですか。

モニタリング、アセスメントに要する1回当たりの時間は、初回の平均で 69.4 分、2回目以降の平均で 37.1 分となっている。

	回答者数(人)	総数(分)
初回	114	7,906
2回目以降	114	4,230

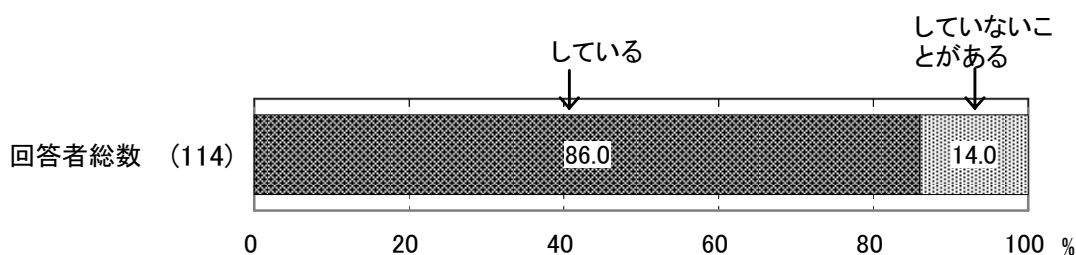
平均(分)
69.4
37.1

V サービス担当者会議の実施状況について

1 すべてのケースにおけるサービス担当者会議の実施状況

問 17 すべてのケースについて、サービス担当者会議を実施していますか。

すべてのケースについて、サービス担当者会議を実施「している」が86.0%と8割半ばを占めており、「していないことがある」は14.0%となっている。

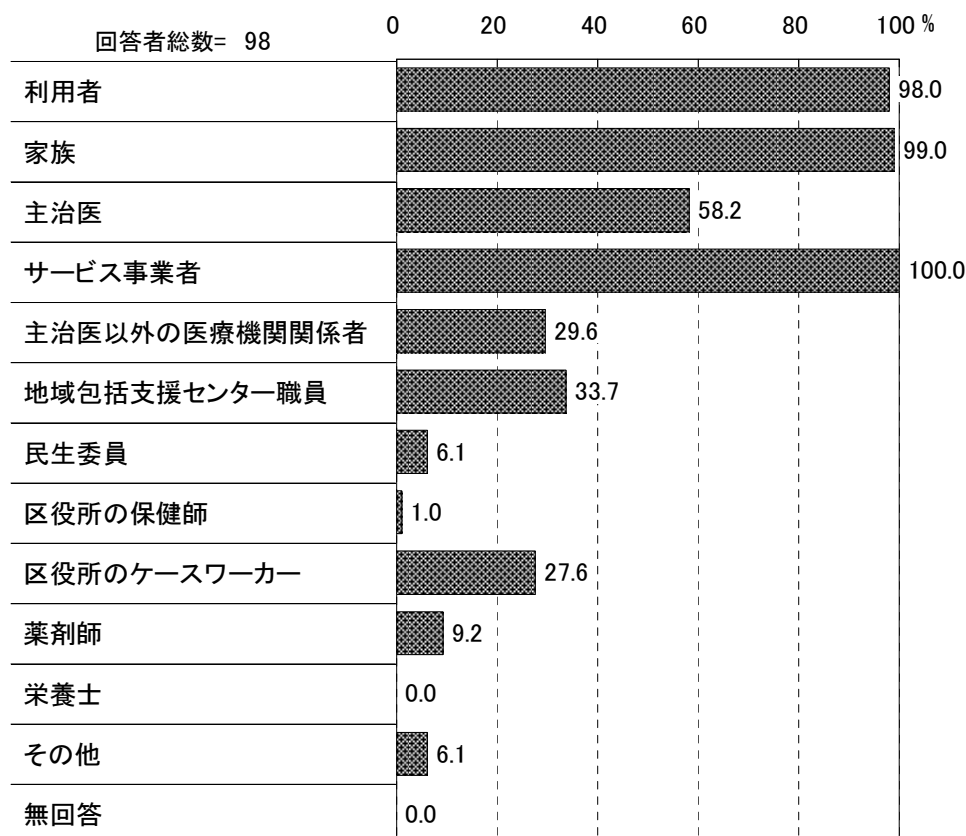


問 17-1 問 17で「している」と答えた方におうかがいします。

サービス担当者会議の出席者は誰ですか。

(あてはまるものすべてに○)

サービス担当者会議の出席者は、「サービス事業者」が100.0%、「家族」が99.0%、「利用者」が98.0%、「主治医」が58.2%などとなっている。

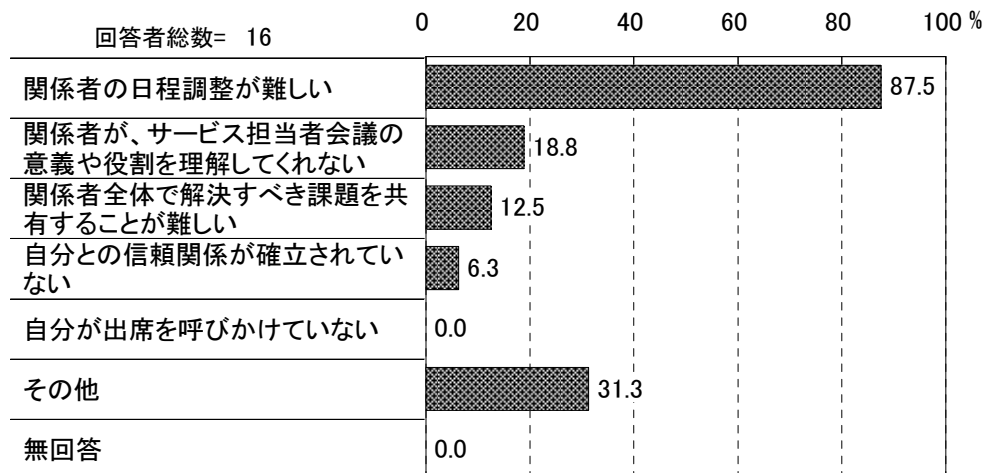


問 17-2 問 17 で「していないことがある」と答えた方におうかがいします。

サービス担当者会議を開催できない理由はなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

サービス担当者会議を開催できない理由は、「関係者の日程調整が難しい」が 87.5% と特に多くなっている。



問 18 サービス担当者会議を開催する際に苦勞していることや工夫していることをご自由にお書きください。

1. 苦勞している点

【主な回答】

- ・関係者の日程調整や場所の調整が困難。
- ・日程がつかず、サービスが先行してしまう場合が多々ある。
- ・身体の状態変化が激しい場合に開催することが難しい。
- ・更新時に集まっても、計画の継続を確認するためだけになることがほとんど。
- ・関係事業所すべての参加を促すことに苦勞している。
- ・主治医の参加が難しく、担当者会議の照会になってしまうことが多い。
- ・会議進行、まとめ、後処理も大変である。
- ・ご本人、ご家族の意向がはっきりせず、サービス内容や時間が決まりにくいときがある。
- ・更新時や短期（長期）目標のときに必ず開催しなければいけないため、本当に必要なときにできない（やりづらい）ことがある。

2. 工夫している点

【主な回答】

- ・事前に必要と思われる項目、それに対応するサービスの原案を作成して臨む。
- ・基本的に長くても30分以内に終わらせる。
- ・できるだけ利用者の自宅で行わせていただいている。
- ・日程調整が難しいため、各サービスの時間に訪問し、何回かにわけて担当者会議を行っている。
- ・開催できなくても、照会依頼をして情報を共有するようにしている。
- ・それぞれが共通認識ができるよう心がけている。
- ・家族や重要な事業所の調整を先にして日程を決め、他関係者が参加できないときは照会文で行っている。